

妖怪アマビエで 新型コロナ退治

終息願いの沼津の会社

沼津市の販促企画会社「オフィスブルー」（窪野岳代表）は16日、新型コロナウイルスウイルスの流行終息を願い、疫病を払うとされる妖怪「アマビエ」を模したこいのぼりを同市の長興寺（松下宗柏住職）に奉納した。

こいのぼりは全長90センチ。妖怪だが、子ども向けにかわいらしいデザインにした。松下住職が疫病退散の呪文を唱えた後、ポールに飾った。

窪野代表によると、こいのぼりは同市の恒例行事「こいのぼりフェスティバル」で飾る予定だったが、新型コロナの影響で中止になったため、奉納を決めた。窪野さんは「コロナ退散と子どもの無病息災を祈りたい。アマビエこいのぼりの塗り絵や型紙も公開しているので、子どもたちに楽しんでほしい」と話した。松下住職は「（5月の）赤ちゃん泣き相撲大会

こいのぼり 長興寺に奉納

は中止にしたが、別の形で子どもの健康を祈願できて良かった。みんなで力を合わせ、新型コロナを終息させたい」と話した。

アマビエは、江戸時代

に熊本県に現れたとされる半人半魚の妖怪で、「病が流行したら自分の写し絵を人々に見せよ」と告げたという。新型コロナの流行を受けてインターネット上で話題になり、厚生労働省も若者向けの啓発用アイコンとして活用している。



新型コロナの終息を祈願してアマビエのこいのぼりを奉納した窪野代表（右から3人目）＝沼津市の長興寺